

参加者 募集

— 一橋大学社会学部／読売新聞立川支局 共催 —

連続市民講座

一橋大学社会学部は2006年4月から
連続市民講座を開講します。

「現代」という環境— 10のキーワードから

一橋大学社会学部と読売新聞立川支局は、共催による全10回の連続市民講座を4月から始めます。開催はほぼ月に1回のペースで、全講座を一橋大学社会学部の教員が担当。毎回、「現代」という時代におけるキーワードを提示し、今、私たちが生きる社会に存在するさまざまな問題状況を読み解いていきます。「環境」を、狭く自然の領域だけに限定せず、人間環境や社会環境、歴史環境やグローバルな環境までを視野に入れて考える内容です。一橋大学社会学部の学際的で総合的な特徴を生かす意欲的取り組みでもあります。

入場無料、事前申し込みは不要。8回以上出席の受講者には修了証も発行いたします。多くの市民のご参加をお待ちしております。

2006年度 講座一覧(予定)

日程	担当者	タイトル
4月22日(土)	渡辺雅男	下流社会—格差という社会環境
5月20日(土)	嶋崎 隆	エコロジー—地球生命圏という自然環境
6月17日(土)	尾崎正峰	ワールドカップ—グローバル化の中のスポーツ環境
7月15日(土)	林 大樹	まちづくり—参加と協働の人間環境
9月16日(土)	木村 元	少子化—歴史の中の教育環境
10月21日(土)	古茂田 宏	ミーム・プール—遺伝する文化環境
11月18日(土)	木本喜美子	雇用平等—職場というジェンダー環境
12月16日(土)	宮地尚子	トラウマ—日常生活のメンタルヘルス環境
1月27日(土)	加藤哲郎	インターネット—情報という擬似環境
2月17日(土)	渡辺 治	憲法改正—憲法という環境の現在

●会場：一橋大学国立西キャンパス・本館・21番および31番教室

●時間：13:30～15:00

参加方法・問い合わせ先

参加は無料。どなたでも入場できます。当日、直接会場までお越しください。

一橋大学社会学部事務室

東京都国立市中2-1

TEL: 042-580-8212

E-mail: jimusoc@ad.hit-u.ac.jp

一橋大学総務企画課

東京都国立市中2-1

TEL: 042-580-8010

E-mail: soumus1@ad.hit-u.ac.jp



一橋大学



読売新聞

協力：一橋新聞 一橋消費生活協同組合

大学までの経路と会場



一橋大学社会学部は、国立大学法人では全国でただ一つの社会学部です。この学部では、通例は法学部や文学部、教育学部に分散している社会科学の諸専門を一つの学部で体系的に学ぶことができるだけでなく、社会のアクチュアルな問題にさまざまな学問の方法から多角的に解明する研究教育を行っています。



渡辺 治

一橋大学社会学部長

この度、読売新聞立川支局と共催で「『現代』という環境」というテーマで連続市民講座を開催することになりました。「環境」という視座で自然環境にとどまらず広く現代の問題を浮き彫りにする、社会学部ならではの企画だと自負しています。社会学部の営みをぜひ市民や高校生の皆さんに知っていただきたいと思います。

読売新聞は今年1月から、「よみがえれ 人と地球」と題した大型連載を始めました。永久凍土の融解、超大型ハリケーンの発生など地球温暖化の影響は世界各地に及び、二酸化炭素の削減など自然環境の保全は待ったなしの状況です。



西野芳明

読売新聞立川支局長

一方、地域社会に目を向けると、社会を取り巻く環境が大きく揺れ動いていることが分かります。加速度的な少子高齢化の進展は、労働人口の減少をもたらし、年金など諸制度の抜本的な見直しを迫られています。

こうした時代にあつて、今回の連続市民講座では「環境」をテーマに選びました。今を知り、明日を読む上で、有意義な講座になるものと自負しています。全10回の講座を最後までお聞きいただければ幸いです。

渡辺雅男(教授)

専門分野は社会科学、社会学。労働論、階級論、市民社会論、福祉国家論、グローバリゼーション論などを研究。担当科目は、「社会科学概論」(導入科目)、「社会構造論」(基礎科目)、「社会変動論」(発展科目)、「社会学」(大学院科目)など。

嶋崎 隆(教授)

専門分野は社会哲学。ドイツの古典哲学や現代哲学、オーストリア思想とウィーン世紀末、教育論や環境思想の哲学、多文化主義や相互文化哲学などを研究。担当科目は、「教養の哲学」(基礎科目)、「社会哲学」(基礎科目)、「哲学史」(社会学) (大学院科目)など。

尾崎正峰(教授)

専門分野はスポーツ社会学。スポーツ政策、生涯スポーツの現状、障害者スポーツ、オーストラリアのスポーツ事情などを研究。担当科目は「身体社会史」(発展科目、大学院科目)など。

林 大樹(教授)

専門分野は労使関係論。労働問題や人的資源管理をめぐり幅広く研究。担当科目は、「総合政策Ⅱ—社会の設計」(基礎科目)、「労使関係論」(発展科目、大学院科目)など。

木村 元(教授)

専門分野は教育史。人間形成全体のなかでの教育システムを考えながら、世界と日本における教育の成立と再生(解体)への過程を研究。担当科目は、「教育の歴史」(基礎科目)、「教育研究法」(発展科目)、「教育の社会史」(大学院科目)など。

講座担当教員

古茂田 宏(教授)

専門分野は倫理学。近代英仏思想史、相対主義と普遍主義、進化論に関する哲学的考察などを研究。担当科目は、「社会倫理学」「現代哲学」(発展科目)、「哲学史」(大学院科目)など。

木本喜美子(教授)

専門分野は家族社会学、労働社会学。労働と家族・ジェンダー関係との関連を実証的に研究。担当科目は、「社会調査論」(基礎科目)、「家族社会学」(発展科目)、「社会学」(大学院科目)など。

宮地尚子(教授)

専門分野は文化精神医学。医療人類学、トラウマと文化・社会、ジェンダー・セクシュアリティ論、生命倫理などを研究。担当科目は、「平和社会論」「地球社会と生命」(大学院科目)など。

加藤哲郎(教授)

専門分野は政治学。戦後日本の政治経済学、ワイマール期在独日本人グループの研究、旧ソ連在住日本人粛清犠牲者研究、沖縄戦後社会運動史、情報社会とインターネットなどを研究。担当科目は、「政治史」(基礎科目)、「政治学」(大学院科目)など。

渡辺 治(教授)

専門分野は政治学。政治学、日本政治史、憲法学。90年代以降の政治改革、ネオナショナリズムの台頭、構造改革を名とする新自由主義改革、その急進的実行政権としての小泉政治の性格などを研究。担当科目は、「政治学」(基礎科目)、「政治過程論」(発展科目)、「政治史」(大学院科目)など。